

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	3
学年・科	1年・普通科 ライフデザイン科				
教材	教科書	大修館書店『現代の国語』			
	副教材				
学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1 明日をひらく 考える技術—考えさせない時代に抗して— 伝える・伝え合う 2 要点をつかむ 水の東西	・言葉やコミュニケーションの基礎を知り、学びに向かう姿勢をつくる。 ・具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にまとめる。	中間 考查 期末 考查
2 学期	6 魅力的に伝える 「伝える」の先にあるもの 工夫して話す 設計図を最初に渡せ 7 資料を駆使する 「安くておいしい国」の限界 インターネット時代の音楽産業 統計資料をもとに意見文を書く	・意識的に表現を工夫する態度を養う。 ・相手の興味を引くように、構成や展開を工夫して話す。 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。 ・資料と文章の関係に注意して、情報を読み取り、自分の意見を持つ。	中間 考查 期末 考查
3 学期	11 主張を吟味する 贅沢を取り戻す 9 情報を比較する 「美しさの発見」について 8 他者と交流する 状況に応じた通信文を書く	・自分の考えが伝わるよう、論理の流れに注意して発言する。 ・目的に即して、文章から必要な情報を読み取る。 ・相手や場面に応じた通信文を書く。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	言葉の意味内容をあらためて考え、認識や思考と言葉との関係を理解している。個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現を理解している。	内容や書き手の意図を解釈し、文章の構成や論理の展開などについて自分の考えを深めている。自分の考えが的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考え、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。	学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。相手や目的に応じた言葉の使い方を積極的に考えようとしている。

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	言葉には、認識や思考を支える働きがあります。語感を磨き語彙を豊かにしましょう。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	単位数	3
学年・科	1年・普通科				
教材	教科書	大修館書店『言語文化』			
	副教材				
学習目標	国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、進んで表現することによって国語力の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。				

	教材内容	学習内容	考查
1学期	【古文編】 1 古文に親しむ 宇治拾遺物語 【現代文編】 5 日本と世界 サーカス/Circus 【漢文編】 1 漢文に親しむ 私たちと漢文 【現代文編】 3 伝統と発展 短歌・俳句	<ul style="list-style-type: none"> 古文の仮名遣いや、古文に特有の言い回しに親しむ。 物語の展開をとらえ、話のおもしろさを味わう。 詩の表現の特徴と内容を読み取る。 漢文訓読のきまりを理解する。 作品にうたわれている情景や心情を読み味わう。 	中間考查 期末考查
	2学期	【現代文編】 6 文学と人生 城の崎にて わたしが一番きれいだったとき 【漢文編】 1 漢文に親しむ 論語 【現代文編】 2 言葉の紡ぐ世界 羅生門 【漢文編】 2 現代に生きる言葉 蛇足 【古文編】 2 自然へのまなざし 枕草子	<ul style="list-style-type: none"> 作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 『論語』の名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方について理解を深める。 言葉の意味に注意し、話の展開を捉える。 場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 登場人物の関係を整理し、話の展開を捉える。 自然の情景に対する作者の感覚を捉える。 作者の人物像をとらえる。
3学期		【古文編】 4 人との交わり 伊勢物語 【漢文編】 3 想いを表す言葉 (2) 漢詩 (自然・友情・人生) 【漢文編】 2 現代に生きる言葉 十八史略	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 漢詩の表現の特徴を理解する。 登場人物の関係を整理し、話の展開を捉える。

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うこととおして語感を磨き、語彙を豊かにしている。	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。	言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。物語の内容や作品の背景、登場人物の思いを捉えようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	言葉には、認識や思考を支える働きがあります。語感を磨き語彙を豊かにしましょう。五感をフルに活用して、楽しく取り組みましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	2
学年・科	1年・普通科				
教材	教科書	地理総合（東京書籍）			
	副教材	地理総合ワークノート（東京書籍）			
学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを旨とする。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1編 地図や地理情報システムでとらえる現代世界 第1章 私たちが暮らす世界 第2章 地図や地理情報システムの役割 第3章 資料から読み取る現代世界	地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解し、現代世界の地理情報を、地図や地理情報システムを用いて収集し、読み取り、まとめる基礎的な技能を身に付ける。 地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 期末 考查
2 学期	第2編 国際理解と国際協力 第1章 人々の生活文化と多様な地理的環境 1節 生活文化の多様性と国際理解 2節 生活文化と自然環境 3節 生活文化と自然環境の持続 4節 生活文化と産業 第2章 さまざまな地球的課題と国際協力 1節 地球環境課題 2節 資源・エネルギー課題 3節 人口課題 4節 貧困課題 5節 都市・農村課題 6節 気候変動課題 7節 持続可能な社会の実現をめざして	人々の生活文化が多様性をもつことや、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性について理解する。 世界の人々の生活文化について、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。 地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることを理解する。 地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、地球的課題の現状や要因・解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現する。	中間 期末 考查
3 学期	第3編 持続可能な地域づくりと私たち 第1章 自然環境と防災 1節 日本自然環境の特色 2節 さまざまな自然環境と防災 第2章 生活圏の調査と地域の展望	地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりを理解し、ハザードマップなどの地理情報を活用して災害による被害を減らす地理的な技能を高める。 生活圏の地域調査を通じて、地域全体の防災意識と防災力を高めるとともに、持続可能な地域づくりのための方策を考察・構想し、表現する。	学年 末 考查

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解しているとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	地理に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	地理を学ぶことが、みなさんの未来を平和で明るく、楽しくすることにつながります。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	地理歴史	科目	歴史総合	単位数	2
学年・科	1年・普通科				
教材	教科書	歴史総合 わたしたちの歴史－日本から世界へー (山川出版社)			
	副教材	歴史総合 わたしたちの歴史－日本から世界へーノート (山川出版社)			
学習目標	1 日本の歴史と世界の歴史を関連づけ、総合的に学ぶことで歴史的思考力を身に付けることを目指す。 2 歴史を学ぶことを通じて、現在の国際社会が抱える諸課題に対応できる、基礎的な知識を身に付けることを目指す。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	1部 近代化と私たち 1 交通と貿易 2 産業と人口 3 権利意識と政治参加や国民の義務 4 学校教育 5 労働と家族 6 移民	18世紀から20世紀初頭の世界（日本も含む）の歴史を中心に学習する。産業社会と国民国家の形成を背景として、人々の生活や社会のあり方が大きく変わったことを理解する。	中間 考查 期末 考查
2 学期	2部 国際秩序の変化や大衆化と私たち 1 国際関係の緊密化 2 アメリカ合衆国とソ連の台頭 3 植民地の独立 4 大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化 5 生活様式の変化	20世紀初頭から1950年代にいたる世界の歴史を中心に学習する。政治・経済・文化など様々な面で国際的な結びつきが強まって、国と国との関係性が変化していったことを理解する。	中間 考查 期末 考查
3 学期	3部 グローバル化と私たち 1 冷戦と国際関係 2 人と資本の移動 3 高度情報通信 4 食料と人口 5 資源・エネルギーと地域環境 6 感染症 7 多様な人々の共存	1950年代以降の世界の歴史を中心に学習する。科学技術の革新を背景に、人・商品・資本・情報などが国境をこえて流動するようになり、人々の生活や社会のあり方がさらに変化したことを理解する。	学年 末 考查

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価 の 観 点 の 趣 旨	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

評価方法	1 知識・技能 … 定期考查の結果をもとに評価します。授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 2 思考・判断・表現 … 定期考查の結果や、授業中に行う作業学習などをもとに評価します。 3 主体的に学習に取り組む態度 … 授業態度・提出物などをもとに評価します。
アドバイス	歴史を学ぶことを通じて、現在の国際社会が抱える諸課題に対応できる、基礎的な知識を習得することを目指しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学 I	単位数	3
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	新編 数学 I (数研出版)			
	副教材	新課程 Study-upノート 数学 I + A (数研出版)			
学習目標	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析について理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 数と式 第1節 式の計算	・式を、目的に応じて1つの文字に着目して整理したり、1つの文字におき換えたりするなどして既に学習した計算の方法と関連付けて、多面的に捉えたり、目的に応じて適切に変形したりする。	中間 考查
	第2節 実数	・実数や数の体系についての理解を深め、実数が四則演算に関して閉じていることや、直線上の点と1対1に対応していることなどについて学習し、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。	
	第3節 1次不等式	・不等式の解の意味や不等式の性質について学習し、不等式の性質を基に1次不等式を解く方法を考察したり、具体的な事象に関連した課題の解決に1次不等式を活用したりする。	
	第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ	・2次関数とそのグラフについて学習し、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識して、事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
	第2節 2次関数の値の変化	・2次関数のグラフを通して関数の値の変化を考察し、2次関数の最大値や最小値を求めることができるようにする。	
第3節 2次方程式と2次不等式	・2次方程式や2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求められるようにする。		
	第2章 集合と命題	・集合と命題に関する基本的な概念を理解し、それを事象の考察に活用できるようにする。	
2 学期	第4章 図形と計量 第1節 三角比	・三角比の意味やその基本的な性質について学習し、三角比の相互関係などを理解できるようにする。また、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、問題解決に三角比を活用できるようにする。	中間 考查 期末 考查
	第2節 三角形への応用	・図形の構成要素間の関係を、三角比を用いて表現し定理や公式を導いたり、日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、正弦定理、余弦定理などを活用して問題を解決したりする。	
3 学期	第5章 データの分析	・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を学習し、目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現したり、不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験などを通して判断したり、批判的に考察したりする。	学生 末考 査

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	命題の条件や結論に着目し数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題についてデータの散らばりや変量間の関係などに着目し適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p>考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。</p>
アドバイス	<p>日々の授業を大切に、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。</p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	新編 数学A (数研出版)			
	副教材	新課程 Study-upノート 数学I+A (数研出版)			
学習目標	場合の数と確率、図形の性質の関係について理解し、基礎的な知識と技能を習得して、事象を数学的に考察する力や、数学のよさを認識して活用する態度を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期			
2 学期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	・場合の数を求めるときの基本的な考え方について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	中間 考查
	第2節 確率	・確率の意味や基本的な法則について学習し、それらを事象の考察に活用できるようにする。	期末 考查
3 学期	第2章 図形の性質 第1節 平面図形 第2節 空間図形	・平面図形の基本的な図形について、知識を深める。また、図形の構造を直感的に見いだし、それを論理的に示す力を身に付ける。 ・空間図形の基本的な図形について、知識を深める。また、空間に対する概念を把握する総合的な力を身に付ける。	学年 末 考 査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。また、図形の性質について認識を深め、図形を構造的に理解したり、数学的に表現・処理したりする技能が身に付いている。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形との関わりに着目し、平面図形、空間図形の構造を見いだし、数理的に考察する力が身に付いている。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎が身に付いている。

評価方法	<p>考查・授業ノート・提出物・小テスト・授業での応答など、全ての学習活動を評価の対象とし、上記の3つの評価規準から総合的に評価します。</p>
アドバイス	<p>日々の授業を大切にし、課題に丁寧に取り組んで、継続して学習を積み重ねていきましょう。</p>

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	理科	科目	化学基礎	単位数	2
学年・科	1年・普通科				
教材	教科書	高等学校 新化学基礎 (第一学習社)			
	副教材	ネオパルノート化学基礎 (第一学習社)			
学習目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を育成することを目指す。日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	第1章 物質の構成 第1節 物質とその構成要素 ・物質の分離、元素、元素の確認 ・物質の三態、原子のなりたち ・同位体、原子の電子配置、周期表 第2節 化学結合 ・イオン・イオン結合 ・共有結合、分子の極性、 ・分子間に働く力 ・共有結合、金属結合	<ul style="list-style-type: none"> 身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離する操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 身近な物質を取り上げ、単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 電子配置と共有結合を関連付け、分子の性質を理解する。 自由電子と金属結合を関連付け、金属の性質を理解する。 	中間 期末 考查
	2 学期	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 ・原子量・分子量・式量 ・物質量と粒子の数 ・物質量と質量 ・物質量と気体の体積、濃度 ・化学反応式 ・化学反応の量的関係 第2節 酸・塩基とその反応 ・酸と塩基、酸・塩基の強弱	<ul style="list-style-type: none"> 粒子の数にもとづく量の表し方である物質量の概念を導入し、物質量と質量、物質量と気体の体積との関係について理解する。 水溶液の濃度をモル濃度で表したり、濃度の分かっている水溶液中の溶質の物質量を求めたりすることができる。 化学反応式が化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを見いだして理解する。 酸と塩基の定義や分類を理解し、酸と塩基を価数や強弱にもとづいて分類することができる。
3 学期		<ul style="list-style-type: none"> 水素イオン濃度とpH、pHの測定 中和と塩、 中和の量的関係 中和滴定、中和滴定曲線 第3節 酸化還元反応 <ul style="list-style-type: none"> 酸化と還元・酸化数 酸化剤と還元剤 金属のイオン化傾向 金属の反応性 電池、電気分解 	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基の反応の量的関係を物質量と関連付ける。 中和滴定の実験を通して、それぞれの操作がどのような意味をもっているのかを理解し、実験結果に対してどのような影響があるかを考察できる。 酸化還元反応が電子の授受によることを理解する。 酸化還元反応を酸化数の増減によって判断できる。 酸化還元反応の量的関係を理解する。 金属のイオン化傾向や金属の反応性を理解する。 酸化還元反応の利用例として、電池や電気分解などがあることを理解し、電池の基本的な知識を身に付ける。

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などの、基本的な操作を身に付けている。	自然界や産業界にある事物・現象の中に問題を見つけ、科学的に探究する過程を通して、科学的・論理的に導き出した考えを的確に表現することができる。	主体的に学習に取り組む態度

評価方法	定期考査のほか、課題やノートなどの提出物、小テスト、授業の取り組み態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	身近な現象に興味・関心を持ち、インターネットなどを活用して積極的に調べたり、化学に関する本で確認したりしましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	体育	単位数	3
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育 (大修館)			
	副教材				
学習目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	1 オリエンテーション 2 体づくり運動	・体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて学習する。	
	3 選択制授業1 ソフトボール、テニス、バドミントン、バレーボール	・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて学習する。	
	4 体育理論1 スポーツの始まりと変遷 文化としてのスポーツ	・スポーツの歴史や、その理念の変容について学習する。	
	5 選択制授業1 6 体づくり運動	・健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むことについて学習する。	
2 学期	7 選択制授業2 サッカー、テニス、バスケットボール、バドミントン	・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。	
	8 体育理論2 オリンピックとパラリンピックの意義 スポーツが経済に及ぼす効果	・スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、国際大会の役割や現代スポーツの経済的な波及効果について学習する。	
	9 ウォークラリー		
	10 陸上競技	・自己に適したペースを維持して走り、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察などの方法などについて学習する。	
3 学期	11 選択制授業3 サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン	・作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することについて学習する。	
	12 体育理論3 スポーツの高潔さとドーピング スポーツと環境	・フェアプレイの精神や、スポーツが環境や社会にもたらす影響について学習する。	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	生涯にわたって継続して運動に親しむために、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保している。

評価方法	学習カードやスキルテスト、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	生涯にわたって運動を豊かに継続することができるよう、体を動かすことの心地よさや、仲間と協力して活動することの楽しさを味わいましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	保健体育	科目	保健	単位数	1
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	現代高等保健体育 (大修館)			
	副教材	現代高等保健体育ノート (大修館)			
学習目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的・計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を身に付ける。				

	教材内容	学習内容	考查		
1 学期	1 単元 現代社会と健康 1 健康の考え方と成り立ち 2 私たちの健康のすがた 3 生活習慣病の予防と回復 4 がんの原因と予防 5 がんの治療と回復 6 運動と健康 7 食事と健康 8 休養・睡眠と健康	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、健康の考え方や、生活習慣病の予防とその回復について学習する。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実現することについて学習する。 	期末 考查		
	2 学期	9 喫煙と健康 10 飲酒と健康 11 薬物乱用と健康 12 精神疾患の特徴 13 精神疾患の予防 14 精神疾患からの回復 15 現代の感染症 16 感染症の予防 17 性感染症・エイズとその予防 18 健康に関する意思決定・行動選択 19 健康に関する環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、現代の感染症とその予防、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康、精神疾患の予防と回復について学習する。 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実現することについて学習する。 	期末 考查	
		3 学期	2 単元 安全な社会生活 1 事故の現状と発生要因 2 安全な社会の形成 3 交通における安全 4 応急手当の意義とその基本 5 日常的な応急手当 6 心肺蘇生法	<ul style="list-style-type: none"> 安全な社会生活について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、安全な社会生活について理解を深め、応急手当を適切にすることについて学習する。 安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを実現することについて学習する。 	学年 末 考查

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	主体的に学習に取り組む態度

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、応急手当の技能が身に付いているか、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	保健体育にかかわる大切な知識を理解し、自分自身の生活と学習内容を結び付けることで、社会や世界とのかかわり方や、より良い人生を送る方法について考えてみましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	音楽 I	単位数	2
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	音楽 I Tutti+ (教育出版)			
	副教材				
学習目標	音楽の幅広い活動を通して、個性を生かしながら思いや意図をもって表現したり味わって鑑賞したりする力を身に付け、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てる。 音や音楽が醸し出すよさや美しさなどを感じ取り、そこに価値を見いだせる感性を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	オリエンテーション 歌おう、響かせよう、楽しもう オーケストラの魅力を探ろう —二つの旋律から広がる音楽— 日本の民族楽器を楽しもう —三線の演奏を通して—	<ul style="list-style-type: none"> 校歌や親しみやすい歌を歌うことで、合唱の楽しみを味わい、高校の音楽学習への意欲を養う。また、様々な音楽に自ら積極的に関わり、音楽を幅広い視点から捉えようとする態度を身に付ける。 オーケストラの様々な楽器の音色や響き、旋律が様々な楽器やその組み合わせによって展開されながらもたらず表現上の効果を理解し、そのよさや美しさを味わう。 三線の奏法を身に付けるとともに技能の習熟度に応じた楽曲の音楽表現を創意工夫しながら演奏し、楽器の魅力を味わう。 	実技試験・筆記試験
2 学期	名曲プレゼンテーション1 —様々な時代の音楽を聴こう— アンサンブルを楽しもう 物語と音楽との関わりに注目しよう —総合芸術における音楽の魅力—	<ul style="list-style-type: none"> 時代や作曲者の違いによる音楽の特徴を感じ取りながら曲や演奏について根拠をもって批評する。 ギターやキーボードなどの楽器の扱いに慣れ、アンサンブルを楽しむ。 オペラやミュージカルなどの総合芸術において物語と音楽が関わり合いながらどのような表現上の効果をもたらしているか考える。 	実技試験・筆記試験
3 学期	名曲プレゼンテーション2 日本の伝統的な音楽 古の音楽に思いをはせよう 世界のさまざまな音楽の魅力 —和楽器の音と世界の楽器の音—	<ul style="list-style-type: none"> 各自で調べた音楽について発表し合う、批評する。 雅楽の楽器の音色や奏法、楽器の構造、管絃の響きに関心をもち、雅楽固有の特徴が日本人の音感覚や美意識、他の文化・歴史と関わりながら育まれてきたことを理解し、そのよさや美しさを自ら味わって聴く。 諸民族の楽器と日本の楽器との比較を通して音楽表現や音楽文化の固有性、共通性を考える。 	実技試験・筆記試験

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点の趣旨	音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。	音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらと感受したこととの関わりについて考え、どのように表現するか意図をもっている。 音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらと感受したこととの関わりについて考えるとともに、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。	楽器の奏法を身に付けることや音楽表現を創意工夫しながら演奏活動をするに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。 抑揚、アクセント、リズムなどの言葉の特性を感じ取り、自己のイメージをもって旋律をつくることに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。

評価方法	授業中の筆記試験や実技試験のほか、課題や作品などの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	普段から芸術に興味を持ち、幅広く音楽作品を聴くようにしましょう。音楽用語などの知識をコツコツ覚えることと、のびのびと豊かに表現することが求められます。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	芸術	科目	美術I	単位数	2
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	高校生の美術1 (日本文教出版)			
	副教材				
学習目標	1 美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を養うことを目指します。 2 感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深めることを目標とします。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	オリエンテーション	・美術Iの学習について	作品・レポート・ワークシート
	1 鉛筆デッサン	・調子の変化 ・形をとらえる ・制作	
2 学期	2 デザイン	・色彩のしくみ ・伝えることと表現方法 ・アイディアスケッチ ・レイアウトと構成 ・作品鑑賞	作品・レポート・ワークシート
	3 映像メディア表現	・アニメーションの基礎 ・表現の工夫 ・制作 ・編集と鑑賞	
3 学期	4 絵画	・画材の特徴と技法 ・形をとらえる ・着色 ・仕上げと鑑賞	作品・レポート・ワークシート
	5 身近な素材と立体表現	・鑑賞	
	6 彫刻・デザイン	・使いやすさと美しさ ・素材研究 ・レンダリングと鑑賞	作品・レポート・ワークシート

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

評価方法	各学期の評点は、各活動への取組と、授業内で制作した作品を考慮して総合的に評価します。
アドバイス	制作に関して分からないことや疑問があれば、積極的に質問してください。美術系進路を考えている人は早めに相談に来てください。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションI	単位数	3
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	Power On English Communication I (東京書籍)			
	副教材	Power On English Communication I WORKBOOK (東京書籍)			
学習目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと [やり取り]、話すこと [発表]、書くことの言語活動及びこれら結び付けた統合的な言語活動を通して、多くの支援を活用すれば、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりすることができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	Lesson 1 Japan's New Tourism	<ul style="list-style-type: none"> 動詞の現在形、過去形 進行形 助動詞+動詞の原形 	中間 考查 期末 考查
	Lesson 2 Light from Creatures	<ul style="list-style-type: none"> 受け身 現在完了形 現在完了進行形 	
	Lesson 3 Routes to the Top	<ul style="list-style-type: none"> 動名詞 不定詞 S+V+O [that 節] 	
2 学期	Lesson 4 Left to Right, Right?	<ul style="list-style-type: none"> 後置修飾の現在分詞 後置修飾の過去分詞 比較級、最上級 	中間 考查 期末 考查
	Lesson 5 Banana Paper	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞 (主格) 関係代名詞 (目的格) S+seem+to 不定詞 	
	Lesson 6 Patterns in Human Behavior	<ul style="list-style-type: none"> It+be 動詞+形容詞+that 節 S+V [be 動詞以外] +C S+V+O+C [形容詞] 	
	Lesson 7 No Plastic or No Future	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where, when 関係代名詞 what 	
3 学期	Lesson 8 Oh My God!	<ul style="list-style-type: none"> 現在分詞の分詞構文 関係代名詞の非制限用法 過去完了形 	学年 末 考 査
	Lesson 9 Is E-sports a Real Sport?	<ul style="list-style-type: none"> S+V[知覚]+O+[現在分詞, 原形不定詞] S+V[使役]+O+C[原形不定詞] S+V+O₁+O₂[if などの節] 	
	Lesson 10 Being Different Is Beautiful	<ul style="list-style-type: none"> wish+仮定法過去の節 仮定法過去の as if 節 仮定法過去の if 節 	

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> 英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を聞いたり読んだりして、その内容を捉える技能を身に付けている。また、情報や考え、気持ちなどを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や情報を聞き取ったり読み取ったりし、話し手や書き手の意図や概要、要点を捉えている。また、情報や考え、気持ちなどを話して伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、書き手、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることや書かれたことを聞いたり、読もうとしている。また、英語を用いて話そうとしたり、伝え合おうとしている。

評価方法	定期考查のほか、実力テスト、授業での小テスト、パフォーマンステスト、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に判断します。
アドバイス	わからない単語や熟語は、辞書を引いて確認しましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	外国語	科目	論理・表現 I	単位数	2
学年・科	1年・普通科				
教材	教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂出版)			
	副教材	MY WAY Logic and Expression Iワークブック (三省堂出版)			
学習目標	話すこと [やり取り]、話すこと [発表] 及び書くことの三つの領域を中心とした総合的な言語活動を通して、発信能力を強化するための発展的な活動を行うとともに、多くの支援を活用すれば、論理の構成や展開を工夫して、話したり書いたりして相手に伝える、又は相互に伝え合うことができる能力を養う。				

	教材内容	学習内容	考査
1 学期	Lesson 1 Let's Talk about Ourselves Lesson 2 School Life Lesson 3 The Arts Lesson 4 Food and Culture	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在形[be 動詞と一般動詞] ・自分の趣味や考えを整理して伝える。 ○ 過去形[be 動詞と一般動詞]と進行形 ・部活動や趣味について、正確に書く。 ○ 未来を表す表現 ・週末の予定について説明したり、自分の好きな絵について、伝え合ったりする。 ○ 現在完了形 ・日本の食文化について正確に書くことができる。 	中間考査 期末考査
	Lesson 5 Welcome to Our Town Lesson 6 Traveling Abroad Lesson 7 Sports Lesson 8 Everyday Technology	<ul style="list-style-type: none"> ○ 助動詞と受動態 ・自分の地域の特徴について発表する。 ○ 不定詞 ・旅行での出来事について、正確に書く。 ○ 動名詞、分詞 ・車いす競技について、自分の考えを発表する。 ○ 比較表現 ・紙の本と電子書籍のよさについて、自分の考えを伝え合う。 	中間考査 期末考査
3 学期	Lesson 9 Take Care Lesson 10 SDGs - Take Actions! Lesson 11 Basic Skills	<ul style="list-style-type: none"> ○ 関係代名詞 ・健康について、事実や自分の考えを発表する。 ○ 関係副詞と仮定法 ・SDGsについて、事実や自分の考えを伝え合う。 ○ まとめ ・学校生活や自分の夢について、プレゼンテーションを行う。 	学年末考査

評価の観点の趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声、語彙、表現、文法の知識を身に付けている。 ・外国語の音声、語彙、表現、文法を、聞くこと・読むこと・話すこと [やり取り・発表] ・書くことによる実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・場面・目的・状況等に応じて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。 ・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、外国語を用いて、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとしている。 ・他者を尊重し、聞き手・読み手に配慮しながら、外国語で自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

評価方法	定期考査のほか、授業での小テストやパフォーマンステスト、課題への取組や授業態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	間違いを恐れずに、積極的に英語を話したり書いたりするように努めましょう。日頃から外国の文化やニュースにも関心を持ちましょう。

令和7年度 愛媛県立小松高等学校 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	単位数	2
学年・科	1年 普通科				
教材	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造 (東京書籍)			
	副教材	家庭科ノート、調理実習ノート (愛媛県高等学校教育研究会家庭部会)			
学習目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指します。				

	教材内容	学習内容	考查
1 学期	家庭科の学び方 ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ 第4章 超高齢社会を共に生きる	家庭科の学び方 生活に生かそう・自分の意見を文章にまとめよう 1 人生を展望する 2 目標を持って生きる 1 人生をつくる 2 家族・家庭を見つめる 3 これからの家庭生活と社会 1 命を育む 2 子どもの育つ力を知る 3 子どもと関わる 4 子どもとの触れ合いから学ぶ 5 これからの保育環境 1 超高齢・大衆長寿社会の到来 2 高齢者の心身の特徴 3 これからの超高齢社会	期末 考查
	2 学期	ホームプロジェクト 第5章 共に生き、共に支える 第6章 食生活をつくる 第7章 衣生活をつくる	
3 学期	第8章 住生活をつくる 第9章 経済生活を営む 第10章 持続可能な生活を営む 第11章 これからの生活を創造する	1 住生活の変遷と住居の機能 2 安全で快適な住生活の計画 3 住生活の文化と知恵 4 これからの住生活 1 情報の収集・比較と意思決定 2 購入・支払いのルールと方法 3 消費者の権利と責任 4 生涯の経済生活を見通す 5 これからの経済生活 1 持続可能な社会を目指して 1 生活をデザインする	学年 末 考 査

評価の 観点の 趣旨	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々を協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分家庭、地域の生活を創造し、実践しようとしている。

評価方法	定期考查のほか、課題やノートなどの提出物、授業に取り組む態度などを考慮して、総合的に評価します。
アドバイス	ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動に積極的に取り組みましょう。実習に主体的に取り組みましょう。また、火気、用具、材料などの取り扱いに注意をして、事故がないように気を付けましょう。